

平成24年度 国営附帯県営農地防災事業 再評価調書

事業名		国営附帯県営農地防災事業	地区・路線名	とうのそ 唐園地区
事業主体		徳島県	関係市町村	板野町
事業概要	事業目的	本地区は、板野町の吉野川下流左岸側に開ける水田地帯である。 本地区内では近年、宅地化の進行に伴い、農業用水の水質が悪化し、農作物に被害がでている状況である。 このため、本事業により用水施設の整備を行い用排分離を行う。併せて関連事業である国営総合農地防災事業吉野川下流域地区において幹線用水路の用排水を分離することにより、本地域の水質障害による農業被害の低減及び農業経営の安定を図ることを目的としている。		
	事業内容	受益面積 26.4ha 受益戸数 73戸 主要工事 管水路工 26.4ha 揚水機場工 1箇所 総事業費 316,700千円（国50%、県35%、町7.5%、地元農家7.5%） 工期 平成20年度～平成26年度		
評価	事業の進捗状況	（事業の進捗状況） 平成23年度までに管水路工18.8haを実施している。 平成24年度末の事業費進捗率は77%（工事量進捗率 管水路工72%、揚水機場工100%）となっている。		
	関連事業の進捗状況	（関連事業の進捗状況） ・国営総合農地防災事業吉野川下流域地区（H3～H26） H24末進捗率 95.0% 取水施設2箇所 揚水機場1箇所 幹線用水路63.3km 水管理施設一式		
評価	社会経済情勢の変化	（社会経済情勢の変化） 計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化がなく、また、農業用水の水質改善も見られないことから、引き続き本事業による用水改良が必要である。		
	計画重要な部分の変更の必要性の有無	（計画重要な部分の変更の必要性の有無） 特になし。		
項目	事業効果の発現状況	（事業効果の発現状況） 本事業の実施に伴い用水施設の整備が推進されれば、地域の農業用水の水質が改善されるとともに農業被害が防止され、安定した農業経営が可能となる。 今年度末には揚水機場が工事が完成することから、末端配管施設が完成した区域では、部分的に効果が発現する。 投資効率＝総事業効果額／総事業費＝1.04		
	受益農家、関係機関の意向	（受益農家、関係機関の意向） 安定した営農の確立及び農業用水の水質改善のため、地元受益者や関係市町村からは事業の早期効果の発現を要望されている。		
事業の実施方針		（事業の実施方針） 継続して事業を実施する。		